

岐阜県福祉サ - ビス第三者評価事業評価結果表

第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

事業者情報

名 称： 岐阜市立第三恵光学園	種別： 障害者支援施設
代表者氏名： 小野 昇	定員（利用人数）： 70名 入所60名、通所10名
所在地： 岐阜市西島町4番24号	058 - 231 - 2455

総 評

評価調査日：平成21年10月8日～平成21年10月9日

特に評価の高い点

岐阜市立第三恵光学園は昭和45年に利用者の職業的自立を目指して、福祉的就労支援を行う県下初の授産施設として設立された歴史ある施設である。その歴史ある援助実践の中で培われた経験知の集積からの援助スタイルが確立され、運営面でもシステム化されている。

建物のハード面での古さは否めないが、適時に改修がなされ、丁寧に使われていると感じた。設備や備品も整理整頓が行き届き、施設全体が清潔に保たれている。今後、高齢化や障がいの重度化が予想されるので、建物のバリアフリー化の推進に期待したい。

就労支援の面では、昨今の経済情勢から作業種目が限られてきてはいるが、今後、工賃作業の受注が減少する場合もあるかもしれないので、作業種目の拡充を検討する必要があると感じた。利用者の方々が積極的に作業に取り組んでいる様子が伺えた。

管理者は各会議や現場での支援活動に積極的に加わり、利用者への声かけを心掛けている。また、職員全体で課題を共有し検討し、支援に望む姿勢が感じ取れた。

個々のサービスで特筆すべきは、まず、入浴の回数の充実である。週5回の入浴が実施され、利用者の状況に合わせて時間帯に幅を持たせて入浴できるよう配慮されている。また、食事については、手洗い消毒設備が設置されており、食堂内も清潔が保持され、食器もきれいに洗浄されていた。職員がともに食事をとることで利用者の喫食状況が把握されている。また利用者の健康管理が適切になされ、健康状態が良くない利用者への特別な配慮ある支援が行われている。

自活訓練棟「あゆみ寮」の設置や訓練プログラムに沿った取り組みは評価したい。今後この訓練プログラムを活かし、人数を増やして地域生活移行に向けた訓練に取り組む自立訓練棟の設置が計画されており、サービスの拡充が期待される場所である。

改善を求められる点

集団処遇から計画的な個別支援への流れには、利用者アセスメントから、課題分析、ニーズの把握、個別具体的支援へとつなげていく一連のプロセスの可視化が要請されるが、利用者一人ひとりきちんとアセスメントが行われており、援助実践が行われているにもかかわらず、その記録がいささか不十分に思われた。また、ニーズを汲み上げ具体的な個別支援につなげる過程が見えにくいので、様式にひと工夫が望まれる。

施設は清潔感があり整理整頓が行き届いているが、利用者の生活感がいまひとつ感じられなかった。部屋のスペースの狭さは否めないが、プライバシーの保護や個性の自由表現スペースの確保が課題のひとつである。利用者一人ひとりの個性が感じ取れる部屋の工夫が望まれる。また運動場、体育館等の設備の使用に関して地域との交流活動等さらなる活用が望まれる。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回施設として3年ぶりに第三者評価を受けるにあたり、まず前回の評価結果から振り返って自己評価を行い、変わってきたこと、変わっていないことを整理し、これまでの取り組みの軌跡を確認する作業を行いました。その中で自分たち自身が未だ十分にできていない点に気づくことができましたが、評価委員の方からはその点はもちろんのこと、さらに多くの点について気づかせてもらいました。それらの貴重なご指摘を受けて、現在改善の取り組みを始めているところです。今回の評価結果が組織としての成長になり、利用者や保護者の方の満足につながるものになるよう努力していきたいと思っております。

評価細目の第三者評価結果（別添）